

1 はじめに

南宇和支部では、各校の視聴覚・情報教育主任を中心に視聴覚・情報教育委員会を構成し、「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践—教育の情報化の推進を通して—」を主題に研修を実施した。

2 教職員研修について

(1) 郡視聴覚・情報教育委員会

- ① 日時：平成31年4月22日（月）13：30～16：15
- ② 場所：愛南町立城辺中学校
- ③ 内容
 - ア 役員の選出
 - イ 本年度の研究主題の検討・決定
 - ウ 研究計画
 - (ア)期日 7月下旬
 - (イ)内容 実技研修（プログラミング教育についての研修）

(2) 郡視聴覚・情報教育委員会実技研修会

南宇和郡の全ての小・中学校には、タブレット端末が導入されている。多くの教員が授業で活用しているものの、タブレット端末を使った最先端の指導法を学び続ける必要がある。また、2020年度からプログラミング教育が必修化される。多くの教員がプログラミングの未経験者であり、何をどのように研修すればよいかなども含め漠然とした不安を抱えている。

そこで、本委員会の会員である各校の視聴覚・情報教育主任が、プログラミング教育が導入された経緯や実践的なプログラミング教育の進め方について理解を深め、来年度からプログラミング教育を進めていくことができるように研修を行った。

○ 愛媛県総合教育センター出前講座

「タブレット端末の活用と授業改善」（愛南町立一本松小学校の校内研修会と同時開催）

- ア 日時：令和元年7月30日（火）10:00～11:30
- イ 場所：愛南町立一本松小学校 参加人数19名
- ウ 講師：県総合教育センター情報教育室
 - 平井敬浩 指導主事
 - 松田智也 指導主事

エ 内容

- (ア) プログラミング教育の理論的研修
- (イ) プログラミング教育の実践的研修
- (ウ) 質疑応答等

3 成果と課題

本研修を実施することにより、プログラミングが小学校に導入された経緯や意味、そしてその必要性などについて理解することができた。また、「プログル」や「PGCon」を実際に体験することにより、プログラミングの楽しさを感じることができた。

今後、プログラミングの授業実践を紹介し合ったり、教育課程の中にプログラミングをどのように位置付けるかなどの具体的な研究を進めたりするようにしたい。

